子どもたちのミーティング
Q&A

ミーティングの 10のステップ

子どもたちとつくるミーティング（サークルタイム）を、10のステップに分けて詳しく見ていきます。
園で取り組む際には、まずは１つずつ、ステップを踏みながら進めていきましょう。
『保育ナビ』の毎月の連載では、現場の先生方からの疑問に、ステップごとに青山先生が答えています。
本資料と併せて、ご活用ください。

ステップ概要

- ステップ 0　本音を出せる環境があるか
- ステップ 1　集まる → ステップ 2　耳を向ける → ステップ 3　声を出す →
- ステップ 4　傾聴する → ステップ 5　話す → ステップ 6　会話する →
- ステップ 7　考える → ステップ 8　意見を出す → ステップ 9　考え合う →
- ステップ 10　そしてまた暮らしへ

ステップ 4　傾聴する（子どもが子どもの言うことに耳を傾ける）

● 傾聴するためのいくつかのコツ

子どもたちが活発に話しだすのはいいけれど、１人の子が延々と話しちゃったり、周りの子が飽きちゃったり。そんなこともよくあります。ちょっとしたコツで、子どもの話を子ども同士で聴けるようになります。

例えば、コツ１。

車座に椅子は並べますが、保育者の隣に空の椅子（だれも座らない席）を用意して、そこを発言席にしましょう。話したい子がいれば、そこまで来てもらい、座ってもらいます。そして、話し終わったら、元の席に戻ってもらいます。

例えば、コツ２。

空席に座るのに緊張しちゃうなら、保育者の膝の上でもいいでしょう。これもコツ１と同じく、話す人、聞く人がはっきりして、だれに顔を向ければいいのかがわかりやすくなります。

まずは人の話が聴けるようになってこそ、話し合いへと展開していけます。

例えば、コツ３。

保育者がペンを１本持って、
「これ、マイクね。マイク持ってる人だけが話して、ほかの人は聞くのね。今、僕が持ってるから、僕が話すね。今日ね、朝パンだったんだよ。火曜日なのに。いつもパンは日曜日にしか出てこないのに。びっくりしちゃった。ねー、みんなのおうちって、朝はいつもパン？　ご飯？　それともほかの何か？　はい、次の人どうぞ」と次の人にマイクを渡します。

話す人、聞く人がはっきりして、今、だれに顔を向ければいいのかがわかりやすくなります。（ミーティングの初めのうちはだれでも答えやすいように、短い返答で終わるものだとよいでしょう。）

『保育ナビ』2024 年度「子どもたちのミーティング Q & A」（執筆／青山誠）

みんなでつくる園の未来！
保育ナビ